

指導内容の系統を見通した説明的な文章の指導

湯浅町立田栖川小学校

教諭 浦西 泰子

【要旨】

本研究では、小学校における説明的な文章教材において第1学年から第6学年までの指導内容の系統を確認し、付けたい力を明確にした単元構想と授業づくりを提案する。

堀江(2007)が提唱している「国語科授業再生のための5つのポイント」を参考に、「指導内容系統表の作成」「学びの手順シートの活用」「学びの自覚化」という3つのポイントを踏まえた単元構想と授業づくりを行った結果、授業者が当該学年の指導内容を明確にすることができるとともに、児童自身が学習内容を認識し、学びを自覚することができた。

【キーワード】

説明的な文章、指導内容系統表、学びの手順シート、学びの自覚化、単元構想

1 研究のねらい

県学習到達度調査の結果分析から、所属校では、「条件に合わせて書くこと」と「要旨の捉え方」に課題があることが明らかになった。筆者は、「国語科は他教科と違い、教材から指導すべき内容がつかみにくいという特性がある」と感じてきた。省察すると、その国語科の特性が故、筆者自身の授業には次の3つの問題点があることがみえてきた。

- ①下学年から上学年への学習内容のつながりを意識できていない授業になっていた点
- ②教科書の内容を網羅的に指導するといった、教科書をなぞるだけの授業になっていた点
- ③教材内容に重点を置いて指導するため、児童が何を学んだかわからない授業になっていた点

冒頭で述べた県学習到達度調査結果に見られた課題は、当該学年の指導だけでなく、低学年からの指導の積み重ねが大きく影響していると考えられる。また、教材内容をなぞる授業であると、児童に身につかない事項である。

よって、指導内容の系統を見据えた授業を低学年の段階から意識して実践する必要があると考え、理論を具現化する授業実践の教材として、低学年の説明的な文章教材を取り上げた。その教材を通して学習内容を系統立て、それぞれの学年ごとに身に付けさせたい力を明らかにした上で、指導すべき内容を意識した単元構想と授業づくりを行うこととした。

表1 堀江による国語科授業再生のための5つのポイント

1	年間指導計画的な観点をもつ(学期・学年つなぎ) ・単元の関係づけ ・授業びらき-授業つなぎ-授業おさめ
2	つけたい言葉の力を見通して授業をつくる ・「つけたい言葉の力」から逆方向に見通す ・学習指導要領との関係
3	学びのめあてをくたく ・子どもから学ぶべき価値・工夫を引き出す
4	「伝え合い」の場を繰り返し設ける ・他者の目をくぐり自分の特徴に気づかせる
5	「メタ認知」まで導き学びの自覚化をうながす ・どのような「言葉の力」をつけたかを「目に見える形に」

表2 筆者による国語科授業改善のための3つのポイント

1	系統表の作成(学期・学年つなぎ) ・単元の関係づけ ・学習指導要領と教科書から指導事項を明確にする
2	「学びの手順シート」を活用した単元構想と授業づくり ・「身に付けさせたい力」が果たしたかどうかを評価する言語活動(「伝え合い」の場)を設定し、その判断基準を明確にする ・「身に付けさせたい力」から逆方向に見通して単元を構想し、授業をつくる ・「学びの手順シート」を作成する
3	学びの自覚化 ・どのような力を付けたかを意識させる

2 研究の方法

筆者の授業実践における3つの問題点を解決するために、以下の方法で研究を進める。

研究の土台となる部分については、堀江(2007)が提唱している「国語科授業再生のための5つのポイント」(表1)を参考に、1で述べた課題の解決につなげられるように「国語科授業改善のための3つのポイント」(表2)を作成した。研究内容と方法について、これら3つのポイントに沿って説明する。

(1) 系統表の作成(学期・学年つなぎ)

堀江(2007)は、「国語科授業再生のための5つのポイント」の中で、1つの単元を大切に扱いながら、年間を通してどのような力を付けていくのかを考える、年間指導計画的な観点をもつことの重要性を挙げている。そして、各学期に扱う教材における指導事項を有機的に関連させ、「単元の関係づけ」を考えていき、「付けたい言葉の力」を見通した授業をつくるために、学習指導要領や評価規準を活用して、「身に付けさせたい力」とは、どのようなものであるかを明確にする必要があると述べている。

本研究では、6年間で扱う説明的な文章教材の構造や指導内容等について表にまとめ、系統表とする。系統表の項目は、表3のとおりである。

表3 系統表の項目

学年	
単元名 教材名	
付けたい力 【指導事項】	
文章構成	
押さえる ポイント	思考
	表現の仕方
	学習用語
言語活動	
ゴール	読むこと
	言語活動
評価規準	

本研究では、6年間で扱う説明的な文章教材の構造や指導内容等について表にまとめ、系統表とする。系統表の項目は、表3のとおりである。

堀江(2007)が述べているように、「単元の関係づけ」をするためには、まず、それぞれの単元で付けたい力を明らかにする必要がある。光村図書(注1)の教科書では、付けたい力、つまり、指導事項は単元目標に示されている。そのため、付けたい力は単元目標と現行の学習指導要領を照らし合わせて整理した。

付けたい力を身に付けさせるために、授業で押さえる必要があると考えるポイントを「思考」、「表現の仕方」、「学習用語」の3つとした。「思考」は、光村図書がウェブページで示している「思考の系統」を基にしなが、それぞれの教材の特徴と結び付けた。「表現の仕方」は、教科書の「学習の手引き」の「たいせつ」から抜粋したものを、「学習用語」は、教科書のページ下部に掲載されているものを一覽にまとめた。

この系統表を活用することによって、指導者が担当学年の各単元で、何を指導しなければならないのかを確認することができる。また、既習事項と未習事項が明確になり、指導する際に上学年での学習につなげるためにどこまで指導しなければならないのか等、系統性を意識した指導ができると考える。

表4 「読むこと」の系統表(説明的な文章)(注2) 第2学年

2年	1学期	2学期		3学期																																																																																																																																																																																																																									
単元名	じゅんじょに気をつけて読もう	読んで考えたことを話そう	せつめいのしかたに気をつけて読もう	知っていることつなげて読もう																																																																																																																																																																																																																									
教材名	「たんぼほのちえ」	「どうぶつ園のじゅうい」	「しかけカードの作り方」	「おにごっこ」																																																																																																																																																																																																																									
付けたい力【指導事項】	◎時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら読む力【読(1)イ】 ◎大事な言葉や文を書き抜き、経験と結び付け、自分の思いや考えをまとめ、発表する力【読(1)エ・オ】	◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、自分の知識や経験と結び付けて感想をまとめ、発表する力【読(1)イ】 ◎時間的な順序を考えながら獣医の仕事やそのわけを読み取る力【読(1)イ】	◎順序を考えて教材文を読み、説明のしかたについて考える力【読(1)イ】 ◎言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づく力【読(1)イ・ウ】	◎身近な遊びを説明する文章を読み、自分の経験と結び付けて、思いや考えを発表する力【読(1)オ】 ◎説明の順序にしたがって文章を読み、書かれている内容を整理する力【読(1)イ】																																																																																																																																																																																																																									
文章構成	形式段落10 / 意味段落3	形式段落9 / 意味段落3	〈作り方〉形式段落6 / 全体のまとまり4	形式段落6 / 意味段落3																																																																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <tr><td>終わりのまとめ</td><td>中</td><td>初め</td></tr> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td></tr> <tr><td>⑯</td><td>⑰</td><td>⑱</td></tr> <tr><td>⑲</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>㉒</td><td>㉓</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td></tr> <tr><td>㉘</td><td>㉙</td><td>㉚</td></tr> <tr><td>㉛</td><td>㉜</td><td>㉝</td></tr> <tr><td>㉞</td><td>㉟</td><td>㊱</td></tr> <tr><td>㊲</td><td>㊳</td><td>㊴</td></tr> <tr><td>㊵</td><td>㊶</td><td>㊷</td></tr> <tr><td>㊸</td><td>㊹</td><td>㊺</td></tr> <tr><td>㊻</td><td>㊼</td><td>㊽</td></tr> <tr><td>㊾</td><td>㊿</td><td></td></tr> </table>	終わりのまとめ	中	初め	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿		<table border="1"> <tr><td>終わりのまとめ</td><td>中</td><td>初め</td></tr> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td></tr> <tr><td>⑯</td><td>⑰</td><td>⑱</td></tr> <tr><td>⑲</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>㉒</td><td>㉓</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td></tr> <tr><td>㉘</td><td>㉙</td><td>㉚</td></tr> <tr><td>㉛</td><td>㉜</td><td>㉝</td></tr> <tr><td>㉞</td><td>㉟</td><td>㊱</td></tr> <tr><td>㊲</td><td>㊳</td><td>㊴</td></tr> <tr><td>㊵</td><td>㊶</td><td>㊷</td></tr> <tr><td>㊸</td><td>㊹</td><td>㊺</td></tr> <tr><td>㊻</td><td>㊼</td><td>㊽</td></tr> <tr><td>㊾</td><td>㊿</td><td></td></tr> </table>	終わりのまとめ	中	初め	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿		<table border="1"> <tr><td>使う力</td><td>作り方</td><td>資料と読み方</td><td>話題を示す</td></tr> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr> <tr><td>⑰</td><td>⑱</td><td>⑲</td><td>⑳</td></tr> <tr><td>㉑</td><td>㉒</td><td>㉓</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td><td>㉘</td></tr> <tr><td>㉙</td><td>㉚</td><td>㉛</td><td>㉜</td></tr> <tr><td>㉝</td><td>㉞</td><td>㉟</td><td>㊱</td></tr> <tr><td>㊲</td><td>㊳</td><td>㊴</td><td>㊵</td></tr> <tr><td>㊶</td><td>㊷</td><td>㊸</td><td>㊹</td></tr> <tr><td>㊺</td><td>㊻</td><td>㊼</td><td>㊽</td></tr> <tr><td>㊾</td><td>㊿</td><td></td><td></td></tr> </table>	使う力	作り方	資料と読み方	話題を示す	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿			<table border="1"> <tr><td>終わりのまとめ</td><td>中</td><td>初め</td></tr> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td></tr> <tr><td>⑯</td><td>⑰</td><td>⑱</td></tr> <tr><td>⑲</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>㉒</td><td>㉓</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>㉕</td><td>㉖</td><td>㉗</td></tr> <tr><td>㉘</td><td>㉙</td><td>㉚</td></tr> <tr><td>㉛</td><td>㉜</td><td>㉝</td></tr> <tr><td>㉞</td><td>㉟</td><td>㊱</td></tr> <tr><td>㊲</td><td>㊳</td><td>㊴</td></tr> <tr><td>㊵</td><td>㊶</td><td>㊷</td></tr> <tr><td>㊸</td><td>㊹</td><td>㊺</td></tr> <tr><td>㊻</td><td>㊼</td><td>㊽</td></tr> <tr><td>㊾</td><td>㊿</td><td></td></tr> </table>	終わりのまとめ	中	初め	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿
終わりのまとめ	中	初め																																																																																																																																																																																																																											
①	②	③																																																																																																																																																																																																																											
④	⑤	⑥																																																																																																																																																																																																																											
⑦	⑧	⑨																																																																																																																																																																																																																											
⑩	⑪	⑫																																																																																																																																																																																																																											
⑬	⑭	⑮																																																																																																																																																																																																																											
⑯	⑰	⑱																																																																																																																																																																																																																											
⑲	⑳	㉑																																																																																																																																																																																																																											
㉒	㉓	㉔																																																																																																																																																																																																																											
㉕	㉖	㉗																																																																																																																																																																																																																											
㉘	㉙	㉚																																																																																																																																																																																																																											
㉛	㉜	㉝																																																																																																																																																																																																																											
㉞	㉟	㊱																																																																																																																																																																																																																											
㊲	㊳	㊴																																																																																																																																																																																																																											
㊵	㊶	㊷																																																																																																																																																																																																																											
㊸	㊹	㊺																																																																																																																																																																																																																											
㊻	㊼	㊽																																																																																																																																																																																																																											
㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																												
終わりのまとめ	中	初め																																																																																																																																																																																																																											
①	②	③																																																																																																																																																																																																																											
④	⑤	⑥																																																																																																																																																																																																																											
⑦	⑧	⑨																																																																																																																																																																																																																											
⑩	⑪	⑫																																																																																																																																																																																																																											
⑬	⑭	⑮																																																																																																																																																																																																																											
⑯	⑰	⑱																																																																																																																																																																																																																											
⑲	⑳	㉑																																																																																																																																																																																																																											
㉒	㉓	㉔																																																																																																																																																																																																																											
㉕	㉖	㉗																																																																																																																																																																																																																											
㉘	㉙	㉚																																																																																																																																																																																																																											
㉛	㉜	㉝																																																																																																																																																																																																																											
㉞	㉟	㊱																																																																																																																																																																																																																											
㊲	㊳	㊴																																																																																																																																																																																																																											
㊵	㊶	㊷																																																																																																																																																																																																																											
㊸	㊹	㊺																																																																																																																																																																																																																											
㊻	㊼	㊽																																																																																																																																																																																																																											
㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																												
使う力	作り方	資料と読み方	話題を示す																																																																																																																																																																																																																										
①	②	③	④																																																																																																																																																																																																																										
⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																																																																																																																																										
⑨	⑩	⑪	⑫																																																																																																																																																																																																																										
⑬	⑭	⑮	⑯																																																																																																																																																																																																																										
⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																										
㉑	㉒	㉓	㉔																																																																																																																																																																																																																										
㉕	㉖	㉗	㉘																																																																																																																																																																																																																										
㉙	㉚	㉛	㉜																																																																																																																																																																																																																										
㉝	㉞	㉟	㊱																																																																																																																																																																																																																										
㊲	㊳	㊴	㊵																																																																																																																																																																																																																										
㊶	㊷	㊸	㊹																																																																																																																																																																																																																										
㊺	㊻	㊼	㊽																																																																																																																																																																																																																										
㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																												
終わりのまとめ	中	初め																																																																																																																																																																																																																											
①	②	③																																																																																																																																																																																																																											
④	⑤	⑥																																																																																																																																																																																																																											
⑦	⑧	⑨																																																																																																																																																																																																																											
⑩	⑪	⑫																																																																																																																																																																																																																											
⑬	⑭	⑮																																																																																																																																																																																																																											
⑯	⑰	⑱																																																																																																																																																																																																																											
⑲	⑳	㉑																																																																																																																																																																																																																											
㉒	㉓	㉔																																																																																																																																																																																																																											
㉕	㉖	㉗																																																																																																																																																																																																																											
㉘	㉙	㉚																																																																																																																																																																																																																											
㉛	㉜	㉝																																																																																																																																																																																																																											
㉞	㉟	㊱																																																																																																																																																																																																																											
㊲	㊳	㊴																																																																																																																																																																																																																											
㊵	㊶	㊷																																																																																																																																																																																																																											
㊸	㊹	㊺																																																																																																																																																																																																																											
㊻	㊼	㊽																																																																																																																																																																																																																											
㊾	㊿																																																																																																																																																																																																																												
押さえるポイント	思考	◎語と語、文と文の順序【順序】 ◎物事の変化【推移】 ◎文章内容と自分の経験を結びつける【意見構築】	◎語と語、文と文の順序【順序】 ◎物事の変化【推移】 ◎文章内容と自分の経験を結びつける【意見構築】	◎列挙された事物を比べる ◎文章内容と自分の経験を結びつける																																																																																																																																																																																																																									
	表現の仕方	◎わけ「～からです。」 ◎順序(時を表す言葉)	◎時間を表す言葉 ◎したこと、あったこと	◎経験と比較(知っていることやしたこと、似ていることや違うところ) ◎人の動きを表す言葉																																																																																																																																																																																																																									
	学習用語	◎はじめ・中・終わり ◎順序 ◎わけ	◎はじめ・中・終わり ◎順序 ◎わけ	◎順序 ◎見出し	◎はじめ・中・終わり ◎順序 ◎わけ																																																																																																																																																																																																																								
言語活動	◎たんぼほのちえで、賢いと思うところを書く。	◎読んで考えたことや、気づいたことを発表する。	◎何かの作り方や使い方が書いてある本を読む。	◎読んで考えたことを、発表する。																																																																																																																																																																																																																									
ゴール	読むこと	◎時間の順序に気をつけて、たんぼほのちえとそのわけを読み取る。	◎時間の順序に気をつけて、その仕事や身の周りのことと比べて読んでいる。	◎自分の知っていることを思い出し、それと繋げて読んでいる。																																																																																																																																																																																																																									
	言語活動	◎たんぼほのちえで、賢いとおもうところはどこか、わけといっしょにノートに書いている。	◎知っていることや、身のまわりのこととくらべて、考えたことや気づいたことについて話している。(読むこと) ◎時間を表す言葉を使って、学校での1日について	◎別の書籍の分かりやすく説明するための工夫を見つける。	◎おにごっこや他の遊びで、遊び方の工夫についてまとめる。																																																																																																																																																																																																																								
評価規準	◎賢いと思った、たんぼほのちえを書いているわけを考えて読んでいる。 ◎おもったことを書くときにつかうことばを使って書いている。	◎この3つの観点について話している。 ・感じたこと ・感したわけ ・獣医さんの仕事の様子 ・知っていること ・身の周りの出来事 ・考えたこと	◎以下の点について読み取っている。 ・まとまりごとにくぎっている。 ・「まず」「それから」などのことばを使って、順序よくせつめいしている。 ・文章に合う絵や写真を使っている。	◎工夫した遊びについて話している。																																																																																																																																																																																																																									

(2) 「学びの手順シート」を活用した単元構想と授業づくり

単元計画は、単元末の言語活動での課題解決に必要な力、つまり、「付けたい力」から逆向きに見通して構想する。「学びの手順シート」(図1)とは、単元における「付けたい力」を具体的に教材の構造や内容と結び付け、習得した知識・技能を児童の言葉で整理するものである。

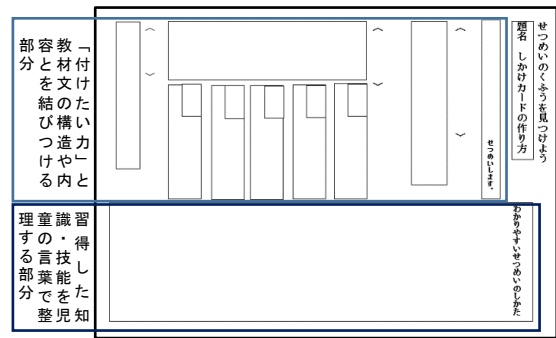


図1 「学びの手順シート」

本研究では、単元末に設定した言語活動と、そこに至るまでの各時間の学習活動をつなげるために、「学びの手順シート」を活用する。図2にその単元構想モデルを示す。このシートは1単元で1枚を完成させるものとし、身に付けた知識・技能を1時間毎に書き足していき、単元末に、単元を通して身に付けた力を児童自身が認識できる形としている。

また、このシートは、児童が習得した知識・技能を使い、学習課題を解決する際の手引きとしても活用できると考える。

(3) 学びの自覚化

学びの自覚化とは、児童自身がどのような力を身に付けたかを認識するということである。堀江(2007)は、学びを自覚することにより、他の場面においても応用可能な力になると述べている。

そこで本研究では、単元冒頭に、児童が今までに身に付けている力を確認する。そして、

時間	1	2	3	4	5
一時間の授業の流れ	今までに身に付けている力の確認				学びの手順シートを使って、この単元で身に付けた力の確認
	この単元で身に付けたい力を確認	学びの手順シートを使って、この時間に身に付けた力①を確認	学びの手順シートを使って、この時間に身に付けた力②を確認	学びの手順シートを使って、この時間に身に付けた力③を確認	身に付けた力 ① ② ③

図2 「学びの手順シート」を活用した単元構想モデル

単元末に、その単元でどのような力が身に付いたかを児童が話せるように、「見つける」「確認する」「使う(試す)」の3つの過程を通し、学びの自覚化を図っていく。

2(2)で述べた「学びの手順シート」は、学習における学びを自覚化させるための手立ての一つにもなる。

3 所属校における授業研究

所属校における提案授業については、第2学年の「しかけカードの作り方」と「おもちゃの作り方」の授業を、11月13日から11月20日にかけて実施した。「しかけカードの作り方」は、「読むこと」の領域を扱う説明的な文章である。「おもちゃの作り方」は、その「しかけカードの作り方」で読み取った説明の仕方の工夫を使っておもちゃの作り方を説明する文章を書く、「書くこと」の領域を扱う教材である。

(1) 作成した系統表の活用について

まず、教科書、学習指導要領、作成した系統表を基にこの単元で身に付けさせる力を確認した。この単元における重点指導事項は、「C読むことイ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」である。そこで、「どうしてこの説明的な文章は分かりやすいのか」ということを単元を通して追究する学習課題とした。教材の特性から、この単元における児童のゴールの姿を次のように設定した。

- ① まとまりごとに整理して書く
 - ② 順序を表す言葉(「まず」「次に」「それから」)を使う
 - ③ 絵を使って説明する
- と、伝えたい内容が分かりやすいということを読み取ることができる。

(2) 「学びの手順シート」を活用した単元構想と授業づくりについて

(1) で示した指導事項が学年末、また、上学年のどの単元につながるのかまで見通し、そこにつながられるように単元を計画し、授業を設計した。(表5、表6)

表5 学びの手順シートを位置付けた「読むこと」の単元計画

時	主な学習活動	学びの手順シートの活用	目標(ゴール)
1	教師の範読を聞く。 「分かりやすい説明のしかたを見つけよう」という学習課題を理解し、学習の見通しをもつ。		「分かりやすい説明のしかたを見つけよう」という学習課題を理解し、学習の見通しをもとうとしている。
2 3	「しかけカードの作り方」を読んで、しかけカードを作り、気をつけて読んだところなどに線を引き、友だちと比べる。	分かりやすい説明のしかたを見つけ「学びの手順シート」にまとめる。	しかけカードを作るために、<作り方>に書かれている情報(写真、数字)を確かめながら、読んでいる。
4	「しかけカードの作り方」を読み、<作り方>の中で使われている、分かりやすい説明のしかたを見つける。	分かりやすい説明のしかたを見つけ「学びの手順シート」にまとめる。	しかけカードを作った学習を振り返り、<作り方>の中で使われている分かりやすい説明のしかた(順序を表す言葉)をまとめている。
5	作り方や使い方が書かれている本を読んで説明の工夫を見つける。	分かりやすい説明のしかたを「学びの手順シート」を使って見つける。	分かりやすい説明のしかた(まとめ、順序を表す言葉、写真)について分かったことを書いている。

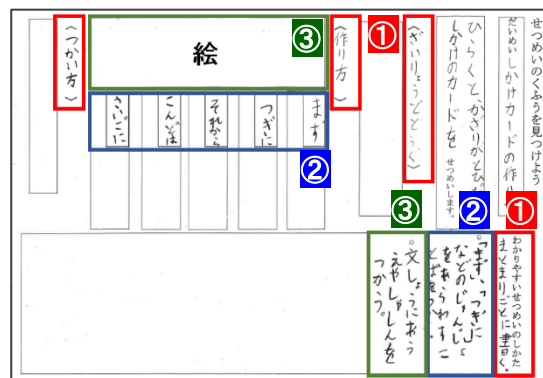
表6 学びの手順シートを位置付けた「書くこと」の単元計画

時	主な学習活動	学びの手順シートの活用	目標(ゴール)
1	「手作りおもちゃの作り方を分かりやすく書こう」という学習課題を理解し、学習の見通しをもつ。 作り方を説明するおもちゃを選ぶ。		「手作りおもちゃの作り方を分かりやすく書こう」という学習課題を理解し、学習の見通しをもとうとしている。作り方を説明するおもちゃを選ぼうとしている。
2	「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明のしかたがどのように使われているのかを確かめる。	分かりやすいせつめいのしかたを「学びの手順シート」で確認する。	「けん玉の作り方」を読み、分かりやすい説明のしかたがどのように使われているのかを確かめようとしている。
3	分かりやすい説明のしかたを使いながら、まとめや順序を考えて、「おもちゃの作り方」を書く。	「学びの手順シート」を確認しながら、自分が選んだおもちゃについて書く。	分かりやすい説明のしかたを使いながら、おもちゃの作り方を、まとめに付け、順序を考えながら書こうとしている。
4	書いた説明書を読み、間違いを見つけ書き直すことができる。	「学びの手順シート」と照らし合わせながら、間違いを見つけ、書き直す。	買った説明書を読み直し、間違いや分かりやすさに気をつけて、書き直している。
5 6	友達と説明書を読み合い、読んだ感想を伝え合う。 友達の書いた説明書を読み、おもちゃを作る。	「学びの手順シート」と照らし合わせながら読み、感想を伝える。	説明書を読み合い、読んだ感想を伝え合っている。 友達の書いた説明書を読み、おもちゃを作ることができる。

まず、単元の概要について説明する。

教材文「しかけカードの作り方」を読み、実際にその作り方の手順に沿ってしかけカードを作らせた。児童に、「教材文を読みながら作るとしかけカードが簡単に作れる」ということに気づかせるためである。そこから、「どうしてこの説明的な文章は分かりやすいのか」という学習課題の解決に向かわせた。その課題解決の過程を「学びの手順シート」に整理していきながら、児童に自分自身の学びを自覚させていった。

次に、具体的に第1時から述べる。



資料1 児童が作成した「学びの手順シート」

第1時では、既習の説明的な文章を想起させ、分かりやすい説明の仕方の工夫にはどのようなものがあつたか整理するところから始めた。これは、今までに身に付けている力の確認に当たる部分である。児童からは、『たんぽぽのちえ』は、時間の順番で書かれていたから分かりやすかつた』などの発言が聞かれた。そこで、「分かりやすい説明のしかたを見つけよう」という学習課題を提示し、新たな説明の仕方の工夫を教材文から読み取っていくという見通しを持たせた。

第2時から第4時では、見つけた分かりやすい説明のしかたを「学びの手順シート」に整理していった。(資料1)

第2時・第3時では、実際にしかけカードを作り、分かりやすい説明の仕方(教科内容)と作るために必要な情報(教科内容)を読み取った。これらの時間に読み取った分かりやすい説明の仕方とは、「まとまりごとに書く」(資料1①)ことである。作るために必要な情報とは、「切りこみは二本」「切りこみの長さは、四センチメートル」「かざりの大きさ」等である。

第4時には、前時までの体感を伴う学習活動を振り返りながら、再度、教材文に目を向けさせ、「順序を表す言葉を使う」(資料1②)と「絵や写真を使って書く」(資料1③)という説明の仕方の工夫を読み取らせた。

このように、「学びの手順シート」の上段には、読み取った説明の仕方の工夫(身に付けさせたい知識・技能)の具体を、下段には、その工夫を一般化した形で整理し、1時間毎に書き足していき、「学びの手順シート」を完成させた。そうすることで、単元末に、単元を通して身に付けた力を児童自身が認識できる形とした。

(3) 学びの自覚化について

学びを自覚させるために、取った手立てについて、各時間と一つの単元という視点から述べる。

ア 各時間にとった手立てについて

各時間にとった手立ては、次の3つである。

- 1つ目は、学びの手順シートに読み取った内容を整理させること(資料1)
- 2つ目は、その時間に何を学んだのかという視点で振り返りを書かせること(資料2)
- 3つ目は、教材文以外の別の文章で確認させること(資料3)

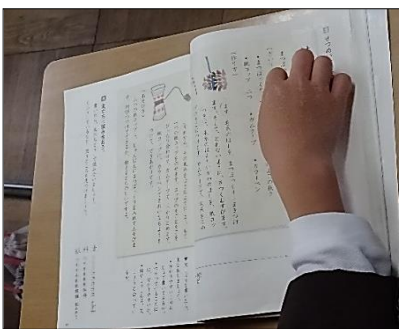


学びを自覚させるために、各時間の終末にその時間の学びを振り返る時間を設定した。写真は、ノートにその時間の学びを記述している児童の様子である。

以下に、児童の記述を示す。

まとまりごとに書いたり、「まず」「つぎに」などのじゅんじょを表わしたり、文しょうに合う絵やしゃしんをつかたりしているの、分かりやすいです。

資料2 振り返りに取り組む様子



その時間の学びを確認するために、各時間の終末に評価テストを実施した。評価問題としては、次の「書くこと」の単元に示されている文章(「おもちゃの作り方」)を活用した。写真は、「しかけカードの作り方」で身に付けた説明の仕方、「まず」「次に」などの順序を表す言葉が文中で使われているかどうかを探し、教科書に書き込みをする児童の様子である。

資料3 評価テストに取り組む様子

イ 単元を通して取った手立てについて

2 (3) で述べた「見つける」「確認する」「使う (試す)」の3段階の過程以下のように設定し、単元を通して学びの自覚化を図った。

第1段階：教科書の教材文を読んで分かりやすい説明の仕方を見つける
(第2時から第4時)

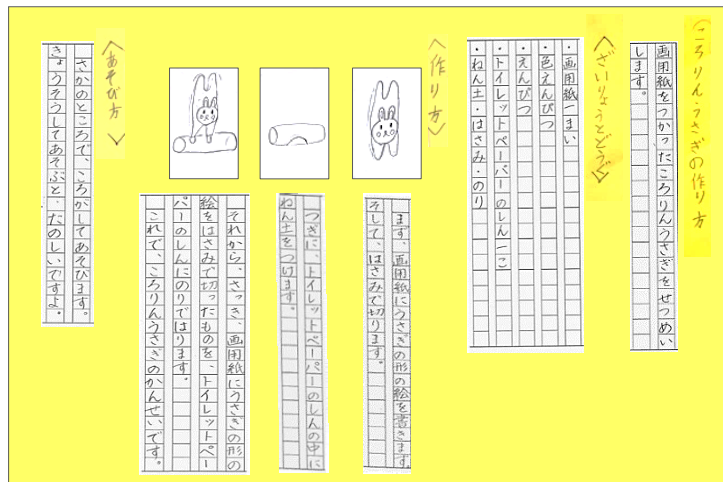
第2段階：教材文以外の別の文章で分かりやすい説明の仕方を確認する
(第3時から第5時)

第3段階：分かりやすい説明の仕方を使う (試す)
(「読むこと」の単元後の「書くこと」の単元第1時から第5時)

第1段階については、先に述べているとおりである。

第2段階について説明する。教材文以外の別の文章とは、「読むこと」の単元後の「書くこと」の単元の児童のゴールの姿として示されているモデル文と、おもちゃの作り方について書かれている書籍の2つである。前者は3時間目と4時間目の各時間に使い、それぞれの授業の終末に学んだ説明の工夫が別の文章にも使われているかを探すとという形で評価問題とした。後者は、単元末の言語活動として「何かの作り方や使い方、遊び方が書いてある本を読み、分かりやすい説明の仕方を見つけよう」という課題を設定し、分かりやすい説明の仕方の工夫を読み取れるかを確認する機会とした。

第3段階については、「読むこと」の単元後の「書くこと」(5時間)の単元(表6)で、身に付けた説明の仕方の工夫を使っておもちゃの作り方を説明する文章を書かせた。児童の成果物を右に示す。(資料4)どの児童も、「読むこと」の教材文から読み取った説明の仕方の工夫を使って、自分の紹介したいおもちゃの作り方について書くことができた。読む単元で完成させた「学びの手順シート」を「書くための手順シート」として活用することにより、学力面に課題がある児童にとっても学習課題を自力で解決しようとする姿が見られた。



資料4 児童の成果物

書いた成果物を友達と読み合う

活動では、「まとまりごとに書いているから分かりやすい」や「私の使っていない順序を表す言葉を使っている」、「文章と合った絵をかいているからよく分かる」とお互いの成果物を相互評価し合う姿も見られた。

このように、単元の中で意図的に学びを自覚させる段階を踏ませるといった指導を繰り返し行った。

4 成果と課題

2で示した研究内容の効果について、検証データと振り返りの記述、児童の成果物(資料4)、筆者の見取りをもとに成果と課題を述べる。

検証データとしては、事前・事後アンケート(8項目)、各時間に行った振り返り調査結果(4項目)をそれぞれ4件法で問い、その回答結果を数値化したものを表7と図3に示す。

表7 授業に関する事前・事後アンケート結果

質問事項	事前	事後	差
① 国語の授業は楽しい。	3.6	4.0	0.4
② 国語の授業は好きだ。	3.9	4.0	0.1
③ めあてとふりかえりをノートに書いている。	3.5	4.0	0.5
④ 自分の考えを友達に説明することは難しい。	2.6	2.9	0.3
⑤ 自分の考えを文で書くことは難しい。	2.4	3.1	0.7
⑥ 話し合うことが好きだ。	3.1	3.5	0.4
⑦ 話し合いで、はっとしたり、なるほどと思ったりすることがある。	3.6	3.9	0.3
⑧ 授業が終わったときに、何を学習したか説明することができる。	3.1	3.6	0.5

※④と⑤は逆転項目のため、点数を反転させて問うている

(1) 系統表の作成(学期・学年つなぎ)による成果

系統表を作成し、第2学年での指導事項を認識することによって、その単元で何を指導しなければならないのかが明らかになり、指導すべき学習内容を明確にすることができた。系統表を活用することで、教材分析で見えてきた教材の特徴の全てを網羅的に指導するのではなく、既習事項と未習事項、さらに、未習事項の中でも本単元で指導すべき内容と後の単元で指導する内容が明確になった。

また、「読む」単元と「書く」単元を関連付けて単元構想、授業設計することで、教科書会社(光村図書)が設定している授業時間数より少ない時間数でそれぞれの単元を構想することができた。このようにして時間を生み出すことができれば、関連図書への多読につなげていくことができると考える。

(2) 「学びの手順シート」を活用した単元構想と授業づくりによる成果

振り返り調査結果(図3)と成果物の評価(表8)の2点から成果について述べる。振り返り調査の②「内容がよく分かった」に着目すると、どの時間も高い数値で推移している。(1)で示したように、指導内容を明確にし、その内容を「学びの手順シート」を活用しながら指導したことによって、何を学んだのかが児童にとっても明確であったことが読み取れる。このことは、③「見通しを持って勉強できた」の項目において高い数値で推移していることから分かる。児童の成果物の評価(表8)に着目すると、全ての児童がB評価以上であった。これは、「しかけカードの作り方」の第2時から第5時にかけて、分かりやすい説明のしかたの工夫を読み取り、学びの手順シートに書き留め、整理することにより、「おもちゃの作り方」を説明する「書くこと」の学習活動に「学びの手順シート」を生かすことができた結果であると考えられる。

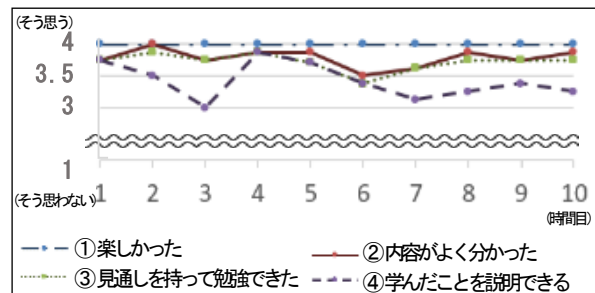


図3 各時間に行った振り返り調査結果 (n=8)

(3) 学びの自覚化による成果

事前・事後アンケートの⑧「授業が終わったときに、何を学習したか説明することができる」の項目に着目すると、0.5ポイント向上している。また、振り返り調査の④「学んだことを説明できる」の項目についても、高い数値で推移している。これらのことから学びの自覚化が図れたことが分かる。

提案授業における「読むこと」の学習では、授業後の振り返りの記述に、「まとめりごとに書いていたので分かりやすい」(第2時・第3時)、「数字や長さ、注意することが書かれていたので分かりやすい」(第2時・第3時)、『「まず」『つぎに』などの順序を表す言葉があるから説明しやすい』(第4時)、「写真を見ながら作ったので分かりやすい」(第4時)など、分かりやすい説明の工夫を児童自身が見つけ、1時間ごとの学びを振り返ることができていた。

「書くことの学習」で、単元末に友達の書いた「おもちゃの作り方」を説明する文を読んで、ペアで感想を伝え合うという活動をした際には、「まとめりごとに書けていた」や「順序をあらわす言葉で書けていた。」「文章に合う絵がかけていた」といった記述が多く見られた。児童は、「読むこと」の単元で身に付けた知識・技能を基に他者の成果物を評価しており、これは、「読むこと」の単元での学びを児童個々が自覚し、「書くこと」の単元で活用することができていることを示していると考えられる。また、単元末のペーパーテストでも、児童の平均点は100点中95.7点となるなど一定の成果が見られた。

表8 成果物の評価 (n=8)

評価	判断基準	割合
A	<ul style="list-style-type: none"> 数や長さについて書かれている。 効果的に絵を使っている。 注意することが書かれている。 	25%
B	<ul style="list-style-type: none"> まとめりごとにくぎって書いている。 「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉を使って説明文が書けている。 絵を使って説明しようとしている。 	75%
C	<ul style="list-style-type: none"> 3つの観点で書けていない。 	0%

上記(1)～(3)の成果を総合すると、3つの研究内容に取り組んだ結果、一定の成

果を得ることができたと言える。系統表を作成することで、既習事項と未習事項、当該学年で身に付けさせたい力が明確になった。加えて、それぞれの学習過程において、下学年から上学年へ指導内容がどのように積み上がっていくのが明確になったことにより、より細やかに指導が行えるようになった。このことは、指導における既習事項の効果的な活用にもつながっている。さらに、学びの手順シートを活用した授業を展開することによって、児童に各時間の学びを自覚させることができ、その学びの自覚が、言語活動における児童主体の問題解決活動にもつながった。よって、当該学年で身に付けさせたい力を育成するための単元構想と授業づくりを行うことができたと言える。

(4) 課題

課題は、重点指導事項の指導を意識しすぎた授業になってしまったことである。今回の授業づくりにおいては、作成した系統表を基に付けたい力を明確にして、確かな学力を児童に保障するために指導内容を精選して授業を行った。その結果、表8に示したように、児童の成果物を評価すると、全員B以上の評価であった。しかし、成果物に「作る上で注意すること」など教材に書かれている内容を取り上げ自分の文章に生かしていた児童は少数であった。単元構想や授業設計が教材の構造など教科内容によりすぎていたためではないかと考える。このことから、教科内容と教材内容をバランスよく組み込んで単元を構想することが重要であると考えられる。

5 今後に向けて

今回の提案授業では、筆者自身が自ら系統表を作成したからこそ、付けたい力が明らかになり、児童が何を学んだかを意識できる授業をすることができた。

今後は、担任が替わっても、学校全体で指導事項のつながりを意識し系統的に指導していくために、その学年で何を指導しなければならないのかをまとめた系統表の見方やその活用の仕方について、教員全体で共通理解し、チームとして指導していく必要がある。また、系統表については、作成するだけではなく、常に内容を見直ししながら、修正していく必要もある。

新学習指導要領では、「読むこと」の指導事項として「構造と内容の把握」という項目が新設され国語教育の改善・充実を図っていくことが述べられている。低学年のうちから、身に付けさせたい力を明確に押さえ単元を構想し、授業を行うことが、高学年での「読みの力」の獲得につながると考える。そのためには、今後も教材分析、教材研究の充実を図っていき、授業改善に努めていきたい。

<注釈>

注1 有田地方で採択されている国語教科書の出版社。

注2 石川県珠洲市立飯田小学校の「読むことの教材研究【説明文教材の系統表】」を参考に、筆者、西田友行（学びの丘長期研修員）、学びの丘指導主事が協働して作成。

<参考文献>

- ・青木伸生『フレームリーディングで説明文の授業づくり』明治図書(2017)
- ・青木伸生『3ステップで深い学びを実現！思考と表現の枠組みをつくるフレームリーディング』明治図書(2017)
- ・大鷹真「『小学校国語科における読む力を高める学習指導に関する研究—説明的文章を確かに読む「スキルアップシート」の作成と活用をとおして—』岩手県教育研究発表資料(2008)
- ・北尾倫彦「観点別学習状況の評価規準と判定基準」図書文化(2011)
- ・筑波大学附属小学校 国語教育研究部「筑波発読みの系統指導で読む力を育てる(2016)
- ・中村光伸・清野佑介「『知の構造』を意識した『逆向き設計』論による単元構想—小学校国語科における説明的文章教材の単元構想を通して—」和歌山県教育センター学びの丘『平成28年度研究紀要』
- ・西岡加名恵『資質・能力を育てるパフォーマンス評価』明治図書(2016)

- ・西岡加名恵『『逆向き設計』で確かな学力を保障する』明治図書(2008)
- ・堀江祐爾『書く力がぐんぐん伸びる! 「言葉のワザ」活用ワーク』明治図書(2010)
- ・堀江祐爾『国語科授業再生のための5つのポイント』明治図書(2007)
- ・文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 国語編』(2018)
- ・和田和美「論理的な文章を書く力を育成する指導法の工夫～「書くことの手引き」の作成と活用～」
和歌山県教育センター学びの丘研修員収録(2014)-2